

定例公安委員会開催状況

平成30年9月20日（木）

西伊豆町・磐田市における水難救助活動について（地域部）

地域部長から、

県警航空隊による水難救助活動について報告する。

1件目は西伊豆町における救助であり、9月9日午前10時10分から午前10時55分までの間、ふじ3号を使用して、シーカヤックが浸水したことにより、西伊豆町仁科地先の浮島海岸岩場にたどり着いた要救助者1人を救助した。

2件目は磐田市における救助であり、9月9日午後3時50分から午後4時55分までの間、ふじ3号を使用して、磐田市中平松地先沖合約1キロメートルにおいて、エンジン故障により漂流する水上バイクから要救助者1人を救助した。

旨の報告を受けた。

◇ 委員から、ヘリコプター救助の実績等について質問がなされ、地域部長から「今年7月から8月までの間に、19回出動している。昨年同期は11回であり、約2倍の件数となる。今年は水難対応が多い。」旨説明した。

高校と連携した魅力ある反射材の製作について（交通部）

交通部長から、

静岡中央署と静岡英和女学院高等学校は共同で、幅広い年齢層への反射材の普及促進を図るため、反射材の効果を損なうことなく、デザイン性が高い反射材を製作した。

反射材は「えんじ色の校名を刻んだキーホルダー型反射材」で、600個製作し、在校生及び来年度入学予定者に配布するほか、静岡英和女学院購買において1個1,100円で販売している。

9月8日、同校で開催された文化祭において、生徒会役員がファッションショー形式で反射材完成発表会を実施した。

英和女学院の生徒が着用することで、幅広い年齢層に対し、反射材の着用を促進していきたいと考えている。

旨の報告を受けた。

◇ 委員から、「交通安全教育に生徒が参加する形で取り組んでいる。これは非常に効果があると思う。いろいろなところでやっていただきたい。」との意見があり、総務部長から「何校かに声を掛け、英和女学院が手を挙げてくれた。学校の姿勢が積極的であった。」旨説明した。

指名手配被疑者捜査強化月間（全国一斉）の実施について（刑事部）

刑事部長から、

指名手配被疑者の早期検挙と捜査活動に対する市民協力の更なる確保を目的とした「指名手配被疑者捜査強化月間(全国一斉)」を、11月1日から同月30日までの間実施する。

重点施策は、指名手配被疑者捜査及び捜査活動に対する市民協力の確保である。

所属の実情に応じ、専従捜査班を設けるなど指名手配被疑者の追跡体制を構築するなどして手配被疑者の追跡捜査と広報活動を強力に推進する。

旨の報告を受けた。

◇ 委員から、「強化月間を行うことで、情報提供が増えるのか。」との質問があり、刑事部長が「指名手配の年間検挙数の5割強が月間中に色々な情報を得て検挙している。強化月間を行うことで、一般の方により関心を持っていただいている。」旨説明した。

平成30年度東名集中工事の実施について（交通部）

交通部長から、

9月18日から10月6日までの19日間、東名高速道路東京IC～豊川IC間、県内は神奈川県境～愛知県境の185.1kmにおいて、平成30年度東名集中工事が実施される。

県内の実施主体は中日本高速道路(株)東京支社御殿場、富士、静岡、浜松の各保全・サービスセンターであり、主要工事は舗装補修、耐震補強、遮音壁設置・更新、橋梁剥落対策・点検等となる。

主な規制として、昼夜連続車線規制、大井松田IC～御殿場IC間ルート閉鎖、沼津IC下り線流入口規制がある。

期間中は高速道路交通警察隊員によるパトロールの強化を予定している。

旨の報告を受けた。